

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1. 概 況

県内の景気は、大幅に悪化しており、厳しい状況が続いている。

最終需要の動向をみると、公共投資が前年並みになっているが、住宅投資が低調に推移しているうえ、設備投資が製造業を中心に大幅に減少している。この間、個人消費は一段と弱くなっている。

こうした中、生産は、受注の低迷から、大幅に減少しており、雇用情勢は厳しさを増している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、所得環境の悪化や雇用調整が進む中で、一段と弱くなっている。

(大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、主力の衣料品が低調なうえ、身回品や雑貨も大きく落ち込んでおり、前年を下回って推移している。

スーパーでは、内食回帰の動きなどから、食料品はほぼ前年並みで推移しているが、衣料品や身回品が不振なことから、全体では前年を下回って推移している。

(家電量販店売上高)

家電販売では、薄型テレビや冷蔵庫が前年並みで推移しているが、パソコンや携帯電話などが伸び悩んでいることから、前年を下回る動きとなっている。

(新車登録台数)

4月の新車登録台数は、前年比 22%と6ヶ月連続で2桁台の前年割れ。

(観光)

ゴールデンウィーク期間中の主要観光地の入込み状況をみると、ETC利用の1000円への値下げなどから、前年を上回った。

(2) 公共投資

4月の公共工事請負金額は、ほぼ前年並みとなっている。

(3) 住宅投資

3月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家の減少から前年を大きく下回った。

(4) 設備投資

2009年度の設備投資計画(3月短観調査結果*)は、受注の減少や収益の悪化を背景に、製造業が前年度を大きく下回っているため、全体でも大幅な減少となっている。

*09年度計画・前年度比：製造業 51.6%、非製造業+0.6%、全産業 46.4%

3. 生産動向

生産は、在庫調整の進展から、一部に下げ止まりの兆しが窺われるが、内外需要の低迷を受けて、全体では大幅な減少が続いている。

(電子部品類)

電子部品・デバイスは、在庫調整の進展などから、減産幅をやや緩和している。

(輸送機械)

完成車、自動車部品とも、世界的な自動車販売の落ち込みを背景に受注が大幅に減少しており、減産幅を拡大している。

(一般機械)

半導体製造装置は、受注の低迷から減産体制を継続しているほか、建設機械部品も、海外需要の低迷から減産を継続している。また、工作機械は、国内外ともに受注が大幅に落ち込んでいるため、減産を強化している。

(その他)

鉄鋼の線材は、世界的な需要の減少を背景に、操業度を大幅に引き下げている。窯業・土石、木材・木製品は、公共工事や民間工事の減少から減産を継続している。この間、食料品は、ほぼ横這いで推移している。

4. 雇用・所得の動向

3月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.38倍(前月:0.37倍)、新規求人倍率(同

上)は、0.70倍(前月:0.62倍)といずれも前月比改善した。

この間、雇用者所得は、所定外給与が大幅に減少していることなどから、前年水準を下回って推移している。

5. 企業倒産

4月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数が9件(前年同月13件)、負債総額が104億49百万円(前年同月140億10百万円)。件数は4ヶ月連続1桁台に止まったが、負債総額は昨年6月以来の100億円超となった。

6. 金融面の動向

預金動向をみると、個人預金が堅調なうえ、貸出の増加に伴う法人預金の増加もあって、前年を上回って推移している。

貸出動向は、住宅ローンが頭打ちとなっているものの、地方公共団体向けが増加しているほか、法人向けも増加していることから、前年を上回って推移している。この間、貸出金利は、低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) http://www3.boj.or.jp/morioka/
--